

歯科医療従事者向け会議(講習会)を終えて

広島大学病院歯周診療科 柴 秀樹



1. はじめに

本年度、エイズ医療対策室が企画する医師、薬剤師、看護師、臨床心理士および社会福祉士向けの研修会に加えて、新企画として歯科医療従事者向けの会議と講習会を開催しました。

平成22年12月19日に開催の中国・四国地方HIV陽性者の歯科診療体制構築のための研究会議と平成23年2月6日に開催の第1回広島県歯科医師会の会員・準会員および広島大学病院歯科研修医のためのHIV感染症に関する講習会です。

2. 歯科医療従事者向け会議(講習会)の必要性

平成17年5月6日厚生労働省医政局歯科保健課長から、「歯科医療機関におけるHIV感染者等の診療体制について(依頼)」(医政歯発 第0506001号、健疾発 第0506001号)が出され、その主な内容は、HIV陽性者等の診療を断る歯科医院の存在が明らかになったことから、このような事例が出ることを無いうように、HIV感染症についての正しい理解を図り、適切な感染防止策を講ずることによって、HIV陽性者に対する歯科診療体制の確保が必要であるということでした。

HIV陽性者に対する歯科医療の確保のために必要なことは、歯科医療従事者がHIV感染症に関して正しい基礎知識を有することです。

また、エイズ治療中国・四国ブロックの拠点病院内での歯科と医科との連携、拠点病院歯科間の連携、および各拠点病院歯科と地域の歯科医院との連携の構築が必要です。



堅固な連携は、HIV感染症に関する基礎知識を有する歯科医療従事者によってのみ構築可能です。

3. 中国・四国地方HIV陽性者の歯科診療体制構築のための研究会議

中国・四国ブロックの23の拠点病院の歯科(口腔外科)の参加がありました。

各県からの参加施設数は、広島県:3施設(広島大学病院は含まない)、岡山県:5施設、山口県:3施設、鳥取県:2施設、島根県:1施設、愛媛県:4施設、徳島県:1施設、香川県:2施設、高知県:2施設です。23病院歯科(口腔外科)からの参加者は39名(歯科医師:22名、歯科衛生士:17名)でした。1名の香川県庁職員(歯科医師)の参加もあり、参加者合計は合計40名でした。

会議に先立ち、HIV陽性者の歯科治療をする上で知っておくべき知識の確認のため、講演会を開きました。

中国四国地方HIV陽性者の歯科診療体制構築のための研究会議日程表 平成22年12月19日(日)外来棟2階会議室

講演 「HIV感染症の概要」
(広島文化学園大学 高田 昇先生)

講演 「HIVに感染した人への心理社会的支援」
(県立広島大学 大下由美先生)

講演 「セクシャリティーについて」
(しらかば診療所 北村 浩先生)

話題提供「広島県HIV歯科医療ネットワーク」について
(広島県歯科医師会 三反田 孝先生)

会議 議題「中国四国ブロックにおけるHIV陽性者の歯科医療体制構築について」
(司会: 主席副病院長 鎌田伸之先生)

(次ページへ続く)

さらに、話題提供として、広島県歯科医師会の常務理事 三反田孝先生に、HIV歯科医療ネットワーク室の概要、現状についてご説明いただきました。会議は、主席副病院長 鎌田伸之先生の司会で進められました。



会議は主席副病院長
鎌田伸之先生によって進行された。

広島県歯科医師会の三反田先生および行政(香川県庁)からの職員の参加がありましたので、拠点病院、歯科医師会、行政というネットワーク構築のために必要な3つの機関の関係者(組織)の参加のもと会議を行なうことができました。

本会議を通じて、中国・四国の各拠点病院歯科間の連携構築は達成できたと考えます。本会議は、参加された各拠点病院の歯科医療従事者が地域歯科医師会あるいは行政との連携をはかり、HIV歯科医療ネットワーク構築を行なう上で大変有意義でした。



質問に回答する広島県歯科医師会
常務理事の三反田 孝先生

4. 第1回広島県歯科医師会の会員・準会員及び院内歯科研修医のためのHIV感染症に関する講習会

講習会の参加者数は、約90名でした。HIV感染症に関する知識の普及という点から、HIV感染症の疫学・病

態・治療法、HIV陽性者の心理社会的支援、血液曝露後の対応について、スタンダードプリコーションの実践という点から、基本知識と開業歯科医院で実際に行なわれているスタンダードプリコーション実践時の工夫についてご講演いただきました。

本講習会は、歯科医療従事者へのHIV感染症に対する正しい知識の普及と拠点病院と地域の歯科医師会との連携強化をもたらしたと考えます。

第1回広島県歯科医師会の会員・準会員及び院内歯科研修医のためのHIV感染症に関する講習会日程表 平成23年2月6日(日) 歯学部大講義室

講演 「歯科医のためのHIV感染症基礎知識」
講師; 広島文化学園大学看護学部 高田昇先生

講演 「HIV感染者への心理社会的支援」
講師; 県立広島大学保健福祉学部 大下由美先生

講演 「曝露事故後の対応」
講師; 広大病院エイズ医療対策室 藤井輝久先生

講演 「米国CDCの勧告にもとづく、歯科診療におけるStandard Precautions 実施への工夫」
講師; 医療法人社団皓歯会 前田憲昭先生

神奈川県や東京都では、HIV陽性者を地域の歯科医院に紹介するシステムがすでに構築、運用されています。

本年1月9日に東京で開催された日本HIV歯科医療研究会で、中国・四国ブロックにおける活動を報告する機会が与えられ、本講習会を紹介させていただいたところ、横浜市でご開業されている歯科医師から講習会参加についての問い合わせがありました。講習会の内容が充実しているのは是非参加させてくださいと言っていました。



システムがすでに運用されている横浜地区でご開業されている先生が本講習会に興味を持ち、遠方にも関わらず参加されたことは、本講習会の内容の充実を示していると考えます。

講習会終了後、参加者に「自分の(自分が勤務する)歯科診療所で、HIV陽性者が歯科治療を希望された場合、どうされますか」というアンケート調査(アンケート回答数: 歯科医師総数52名、歯科衛生士(歯科助手を含む)総数27名)を行なったところ、1. 診療する(歯科医師 38名(73%)、歯科衛生士 20名(74%))、2. 診療しない(歯科医師 0名(0%)、歯科衛生士 0名(0%))、3. 他院を紹介する(歯科医師 7名(13%)、歯科衛生士 2名(7%))、4. 無回答、複数回答(歯科医師 7名(13%)、歯科衛生士 5名(19%))でした。



ご講演中の大下由美先生



ご講演中の前田憲昭先生

5. 終わりに

HIV陽性者の歯科治療を困難にしている要因は、歯科医療側と患者側の要因があります。



歯科医療側は、感染対策が不十分であること、スタッフの協力が得られないこと、風評被害によって患者が減少することをHIV陽性者の診療拒否理由として挙げられます。

患者側は、診療拒否されるのでHIV陽性であることを歯科医療側に報告しません。報告しなければ、外科的処置に対して不安を抱くとともに、歯科医療従事者への感染を懸念します。実際、3割のHIV陽性者が感染の事実を報告せず歯科診療を受けたという報告があります。

スタンダードプリコーションを実施していれば、感染の有無は診療行為に影響を与えません。しかし、針刺し事故が生じた場合、HIV陽性であることを患者が歯科医療従事者に告げていけば、迅速で適切な対応が可能になります。HIV 歯科医療ネットワークの構築は、この迅速な対応を可能にするとともに、患者のライフスタイルに合わせた歯科治療の提供、および診療に必要な情報を共有できることから患者の診療に対する不安を取り除くことができます。



本年度の会議と講習会によって、拠点病院歯科間のネットワークの構築および各拠点病院歯科と地域の歯科医院とのネットワークの構築の必要性、歯科医療従事者への正しいHIV感染症に関する基礎知識を提供できました。

しかしながら、歯科医療従事者によるHIV陽性者の歯科診療の実践には、感染症に関する基礎知識に加えて、HIV陽性者の歯科診療を行うという強い意思を持つ必要があります。つまり、知識の普及だけでは、HIV陽性者の歯科診療体制の構築は困難です。



講習会の前日、B型肝炎に偏見のない社会という20代原告女性手記に関する新聞記事を見つけました。

女性は予防接種によって感染しました。上司からB型肝炎とわかっていたら採用していなかったなどの差別を受けたと記載されていました。「相手の立場を斟酌できる社会の必要性」を説きたいです。しかし、このことは、国民全体がB型肝炎、C型肝炎やHIV感染症などの感染症について正しく理解していないことを示します。感染症に対する偏見、差別がない社会は、HIV陽性者の歯科診療を断る歯科医療従事者数を可能な限り0に近づけると考えます。

HIV陽性者の医療を確保するためには、非常に困難な事業ですが医療従事者向けの講習会に加えて国民全体への知識の普及が不可欠です。

HIV陽性者の歯科医療体制構築のための歯科医療従事者向けの会議(講習会)を開催した場合、行政による積極的な支援がない会議(講習会)は画龍点睛を欠き、開催の必要があるのかという辛辣な批評が必ずあります。

しかしながら、全国規模での継続的な歯科医療従事者向けの講習会の開催が歯科医療体制の実現のために一役を担うことに異論はないと思います。

これらの歯科医療従事者向けの会議(講習会)は、歯科医療従事者およびHIV陽性者、双方の隔靴搔痒の感を取り除き、HIV陽性者の歯科医療体制構築の礎となることを確信します。



平成23年度4月～8月のHIV/AIDS関連イベント案内

4月

平成23年度第1回エイズ拠点病院オープンカンファレンス(3病院定例会議)

平成23年4月6日(水)18:30～

県立広島病院 中央棟2階 講堂

5月

平成23年度心理職対象HIVカウンセリング研修会(初心者向け)

平成23年5月14日(土)10:10～16:00

医科外来棟大会議室

6月

HIV感染症薬物療法認定薬剤師養成研修会

平成23年6月6日(月)・6月7日(火)

医科外来棟小会議室

平成23年度四国地方エイズ拠点病院コミュニケーションスキル向上のための会議

平成23年6月11日(土)・12日(日)

徳島大学病院日垂メディカルホール(徳島市)

平成23年度広島県エイズ診療中核拠点病院等連絡協議会及び医療従事者等研修会

平成23年6月29日(水)

広島市立広島市民病院 中央棟10階講堂

7月

第21回看護師のためのエイズ診療従事者研修

平成23年7月11日(月)・12日(火)

医科外来棟2階会議室

第27回 抗HIV薬服薬指導のための研修会

平成23年7月16日(土)・7月17日(日)

ひろしま国際ホテル(広島市)

平成23年度第1回 HIV/AIDS専門カウンセラー研修会

平成23年7月16日(土)・17日(日)

ひろしま国際ホテル(広島市)

平成22年度第1回中国・四国ブロックエイズ治療拠点病院等連絡協議会

平成22年7月23日(金)14:00～17:30

メルパルク広島

8月

第22回 看護師のためのエイズ診療従事者研修

平成23年8月8日(月)・9日(火)

医科外来棟2階会議室



興味のある方は、
エイズ医療対策室(内線5351)
までお問い合わせください。

<ご意見募集>

ご意見やご希望がございましたら、
エイズ医療対策室(5351)までお寄せください。